



2026 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 Hm c o mm株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 三本 幸司
(コード：265A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 土屋 学
(TEL. 03-6550-9830)

「Voice AI Agent Platform」エコシステム構築に向けた戦略投資方針について

当社は、本日公表いたしました「AI プラットフォーム企業への事業転換に向けた「Voice AI Agent Platform」戦略の策定について」において定めた「Voice AI Agent Platform（以下、「VAAP」という）」戦略の実現を加速するため、本日開催の取締役会において、VAAP エコシステム構築に向けた戦略投資方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、単独で全ての AI Agent を開発するのではなく、有望な AI スタートアップ、ソフトウェアベンダー、SIer、業界特化企業との資本・業務提携を推進することで、日本発の Voice AI Agent エコシステムの構築を目指します。

また、本戦略投資方針は、当社が創出する利益を企業価値向上につながる成長投資へ継続的に再投資することで、持続的な成長サイクル（フライホイール）を形成することを目的としております。

1. 戦略投資方針策定の背景

近年、生成 AI・LLM および AI Agent 技術の飛躍的進歩に伴い、音声インターフェースを活用した Voice AI Agent は、コンタクトセンター、現場業務、バックオフィス等のあらゆるビジネス領域において、次世代の業務基盤（インフラ）として急速に需要が高まっております。

当社は、創業以来培ってきた音声認識・自然言語処理技術を強みとし、「Voice AI Agent Platform (VAAP)」を中心とした AI プラットフォーム企業への転換を強力に推進しております。

本構想の達成に向け、当社単独での自社プロダクト開発に加え、外部の有望なスタートアップ企業や専門技術を持つパートナー企業との資本・業務提携を加速させ、「VAAP エコシステム」の構築および「Voice AI Agent Marketplace」の定量的拡大を目的として、本投資方針を策定いたしました。

2. 戦略投資の重点領域（VAAP の進化に向けた 4 つの軸）

当社は、VAAP の価値最大化に直結する以下の 4 領域へ重点的に戦略投資（出資・PoC 支援・共同開発）を実施してまいります。

- VAAP コア技術・機能の強化
Voice LLM、自律型 Agent Orchestration、マルチモーダル対応、リアルタイム感情解析、セキュア AI 等の周辺・先端技術の取り込み
- 「Marketplace」登録 Agent の急速拡大
業界特化型 AI Agent（医療・金融・建設・自治体等）や特定業務特化型 Agent を保有するスタートアップとの提携・組み込み
- AI Native SaaS とのプラットフォーム連携
既存の基幹システムやクラウド SaaS と VAAP をスムーズに接続するための API・コネクタ技術の獲得
- 将来的な M&A・事業統合パイプラインの構築
PoC や販売提携を通じたシナジー検証を踏まえ、中長期的な M&A による事業統合を見据えた戦略的關係構築

3. 投資枠組みおよび概要

対象領域：Voice AI Agent、LLM、音声 UI/UX、業界特化型 AI 等の関連スタートアップ

投資目的：VAAP 機能拡張、Marketplace への Agent 供給、プロダクト売上比率およびストック収益の向上

投資規模：1 社あたり数百万円 ～ 3,000 万円程度を想定

年間投資枠：年間総額 1 億円 ～ 3 億円程度（当社自己資金より充当）

投資形態：資本提携、業務提携、PoC 共同投資、M&A 等

4. 本投資方針が目指す姿（VAAP 成長サイクル）

本投資方針に基づき資本・業務提携を推進することで、以下の「成長の飛輪（フライホイール）」を回してまいります。

1. 戦略投資の実施：年間 1～3 億円枠を活用し、先端技術や特定ドメインの Agent を獲得
2. VAAP への統合：自社開発基盤「Agent Studio」および「Marketplace」へ組み込み
3. 導入社数・ARR の拡大：マルチプロダクト化により顧客単価（ARPU）および継続収益（ARR）を向上
4. 創出したキャッシュの再投資：高利益率化した収益をさらなる戦略投資へ循環

5. 目指すエコシステム循環モデル

当社は、パートナー企業および顧客との間に以下の持続的なエコシステムを形成いたします。

【 パートナー（Partner） への出資・提携（Investment） 】



【 共同開発・実証実験（PoC）の実施 】



【 「Marketplace」 への新規 AI Agent の供給 】



【 顧客（Customer） への導入および ARR（継続収益）の拡大 】



【 創出したキャッシュによる再投資（Investment） 】

この循環を高速で回すことにより、市場におけるプラットフォームとしての優位性を固めてまいります。

6. ガバナンスおよび投資管理体制

戦略投資の実行にあたっては、取締役会を中心とした厳格な投資判断プロセスのもと、事業シナジー、技術的優位性、および将来的な回収可能性（ROI）を総合的に評価いたします。

また、単なる金融投資にとどまらず、当社アライアンスチームが投資先との PoC 連携・共同マーケティング・技術統合を直接ハンズオンで支援することで、事業シナジーの早期発現および企業価値向上にコミットしてまいります。

7. 目指す姿

当社は、「自社だけで成長する企業」ではなく、「パートナーとともに成長する AI プラットフォーム企業」を目指します。

本戦略投資を通じ、

- 新たな AI 技術
- 新たな AI Agent
- 新たなパートナー
- 新たな市場

を継続的に取り込み、Voice AI Agent Platform（VAAP）の価値向上を図ることで、日本発の Voice AI Agent エコシステムの形成を推進してまいります。

以 上